



今月のいいね



しょうぶかん まこと  
北海道三石翔武館 館長 野口 誠さん(63歳) ※写真中央

全国大会の団体戦で優勝1回、個人戦で優勝者3人を輩出するほか、毎週、苫小牧市や白老町などからも少年少女剣士が通う実績ある剣道少年団です。立ち上げから22年。現在も館長としてバリバリ活躍中です。



剣道が好きです  
練習が楽しいです

9月22日、町長に全国大会出場を報告

■設立のきっかけ

「子どもたちに高みを目指してほしい。剣道で培った経験を一つの糧として、社会に飛び立ってほしい」などの思いから、平成11年に「北海道三石翔武館」を立ち上げました。

■剣道の魅力など

剣道は、稽古を続けることによって心身を鍛錬し、人間形成を目指す古くから続く日本の武道です。剣道には、気を抜かずに次の攻撃に備える心構え「残心」という言葉があり、一本を決めたあとも喜びの声を上げたり、こぶしを突き上げたりなどはしません。勝負の場においても相手を敬い、礼節を尊ぶことが重視されます。

また、勢いある若い剣士でも80代の範士に勝つことは極めて難しく、精神的な部分がとても重要視される運動文化です。私も、これまでに水泳やスキー、空手などを習得してきましたが、剣道が一番奥深く感じています。

■活動内容など

毎日練習しています!  
土・日は、町外への遠征などもあります。

●活動日

月	火	水	木	金	土	日
三石中	三石中	スポセン	三石中	スポセン	スポセン	スポセン
18:30 ~ 21:00					13:30 ~ 17:00	

●特別活動

夏休みに地元の生活館でバーベキューやスイカ割りなど「栄養会」と題した催しを行っています。

●交換ノート

毎日、子どもたち一人ひとりとノートを交わしています。その時々的心情や思いなどを知ることができ、指導する中で最も大切にしているものの一つです。

7月に滝川市で開催された第45回北海道道場少年剣道大会の個人戦小学生女子の部で準優勝し、来年1月に大阪府で開催される全国大会初出場の切符を手にした池田美咲さん(三石小5年)。

また、10月に行われた同大会団体戦小学生の部で、北海道代表12チームに入り、全国大会の切符も手にしました。



三石翔武館卒団生(OB)  
馬場悠太郎さん(28歳)  
※現在、厚生労働省に勤務

剣道で培ったこと

剣道の理念は、剣の理法の修練による人間形成の道であると定義されています。私は翔武館の厳しい稽古を通して剣道の技術面はもとより、困難に立ち向かう

精神力や粘り強さといった、言わば人間形成の土台となる部分を学びました。現在も剣道を続けていますが、これからも翔武館の教えを元に鍛錬を続けていきます。

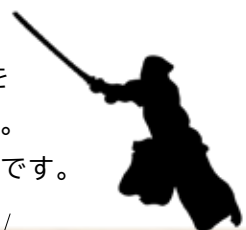
■実績・戦績など

全国大会優勝 団体1回、個人3人  
※全道大会出場・準優勝・優勝多数。

※高校まで翔武館で練習を積み重ね、卒業後は、明治、法政、中央、東海大学などの剣道強豪大学に進学し、その後、国家公務員や大手銀行などに務めながら剣道続けている教え子も多い。

■今後について

集中力を高めることのできる環境を整えてあげたい。道場が欲しいです。全国で活躍できる剣士を増やしたいです。



夏休みなど、たまに大学生・社会人OBも練習に顔を出し、一緒に指導してくれます。

現在、団員15人、指導者6人が在籍しています。

団員募集しています!